

**製品名: InsP6 キナーゼ 3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12632**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	51kDa

**抗原情報**

遺伝子名	IP6K3
別名	IP6K3; IHPK3; Inositol hexakisphosphate kinase 3; InsP6 kinase 3; Inositol hexaphosphate kinase 3
遺伝子 ID	117283.0
SwissProt ID	Q96PC2
免疫原	抗血清はヒト IP6K3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 201-250

**背景**

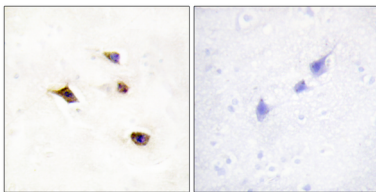
この遺伝子は、イノシトールホスホキナーゼ (IPK) ファミリーに属するタンパク質をコードしています。このタンパク質は、イノシ

トールヘキサキスリン酸 (InsP6) からジホスホイノシトールペンタキスリン酸 (InsP7/PP-InsP5) への変換に関与していると考えられます。また、1,3,4,5,6-ペンタキスリン酸 (InsP5) から PP-InsP4 への変換にも関与している可能性があります。選択的スプライシングの結果、同じタンパク質をコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008年12月]。触媒活性: ATP + 1D-ミオイノシトール 1,3,4,5,6-ペンタキスリン酸 = ADP + ジホスホ-1D-ミオイノシトールテトラキスリン酸 (異性体構成は不明)。触媒活性: ATP + 1D-ミオイノシトールヘキサキスリン酸 = ADP + 5-ジホスホ-1D-ミオイノシトール (1,2,3,4,6) ペンタキスリン酸。機能: イノシトールヘキサキスリン酸 (InsP6) をジホスホイノシトールペンタキスリン酸 (InsP7 / PP-InsP5) に変換します。1,3,4,5,6-ペンタキスリン酸 (InsP5) を PP-InsP4 に変換する。類似性: イノシトールホスホキナーゼ (IPK) ファミリーに属する。組織特異性: 脳で検出される。、

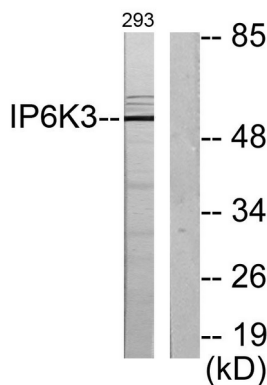
## 研究分野

-

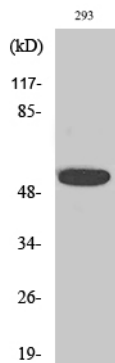
## 画像データ



IP6K3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



IP6K3 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



InsP6 キナーゼ 3 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析